

日本学研究所主催 第61回研究例会
第4回 海外の日本文化研究
—その動向と可能性—

司会・コーディネーター：鈴木 彰（立教大学文学部教授・日本学研究所副所長）

プログラム

『朝鮮征伐記』の歴史叙述と対外意識

覃 思遠

（北京日本学研究中心大学院生・日本学研究所研究員）

『好色五人女』における女性の造形について

許 瑋晴

（北京日本学研究中心大学院生・日本学研究所研究員）

「環境史の観点からみた鉄穴流し—高梁川流域を事例として—」

Joanna Linzer

（イエール大学博士課程・フルブライト奨学生）

内容

立教大学は多くの留学生が在籍し、スーパーグローバル大学（グローバル化牽引型）にも指定されており、研究の国際化や国際交流の中核を担う大学として期待されている。しかしながら、本学の留学生の研究内容やその問題意識は、学生や教員間において必ずしも十分に共有されているとはいいがたい。本例会では、今後海外において日本文化研究を推進していくであろう留学生たちによる研究発表を行う。海外各国における日本文化研究の動向や関心についても発表者による報告を行い、世界における日本文化研究の今後の方向性や可能性について議論したい。

【日時】 2018年7月21日（土）14:00～17:00

【場所】 立教大学 池袋キャンパス 7号館 7201 教室

【対象】 学生、大学院生、教職員、一般

【予約】 不要（入場無料）

主催・お問い合わせ：立教大学日本学研究所（e-mail:nihongaku@rikkyo.ac.jp）